

みどりの風



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
URL <http://www.syoujukai.org/> E-mail ikoinosato@syoudjukai.org

編集責任者：理事長 中村 猛
編 集：季刊誌編集委員会



第65号御挨拶

理事長 中村 猛



皆さんこんにちは。

6月に入り、今年は早い梅雨入りとなり、長いシーズンの時折の晴れ間は初夏の強烈な日射しとなってきました。

早朝ウォーキングを日課としている小生にとって、道端に咲き誇る草花、あおぎ見る若葉のおい茂る

木々の日々の変化は自然の躍動を身体に感じる貴重な一時であります。

自然界は四季の変化を確実に恵みをもって私達に伝えていますが、今、人間社会はもう一年半になる巣ごもりの防御体制のなか、人の呼吸器を侵す新型コロナウイルスとの戦いが続き、未来の読めない状況となっています。

発生から終息まで、これからも長い苦難の道のりが待っていますが、早い栄光の道が開かれ、その検証と今後の解決

策を万人が待ち望んでいる所であります。

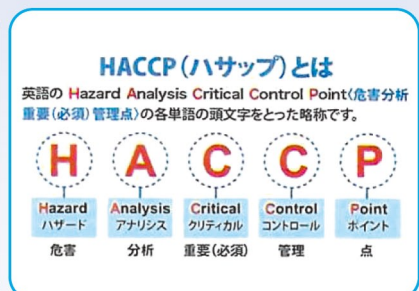
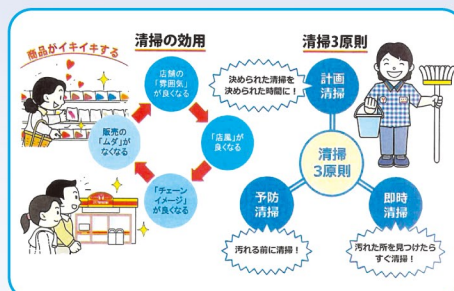
私共の病院、クリニックでも予防としてのワクチン接種が6,000人を越え、発熱外来と診療としてのコロナ病棟も改装の上稼働することになりました。専任のスタッフのチームワークと応援する全員の協力のもと、地域社会に医療機関としての役目を果たしていきたいと思っております。



ヤマザキ Y ショップ中村病院店だより

店 長 小 野 敦 史

2020年(令和2年2月17日)より、中村病院内1階にてYショップがオープンしております。皆様からのご愛用によりオープンから2年目を迎えられることができ大変感謝しております。今まで、1周年記念セールや季節ごとのセール等を開催してまいりました。また、毎週の(月)(火)に特売セールをおこなっております。中村病院へお越しの際にはぜひご利用いただきますようお願い申し上げます。ご来店お待ちしております！



HACCP取り組み中



新型コロナ病床の開設について

院長 高橋 輝



大阪府の新型コロナウイルス感染症患者の急増のため、大阪府の医療体制は逼迫していることはご存知の通りと思います。感染者数は減少に転じていますが、枚方市の新型コロナ病床を有する基幹病院では、コロナ病床を増やすため、一般の診療機能を一部停止してまで対応している病院もあります。

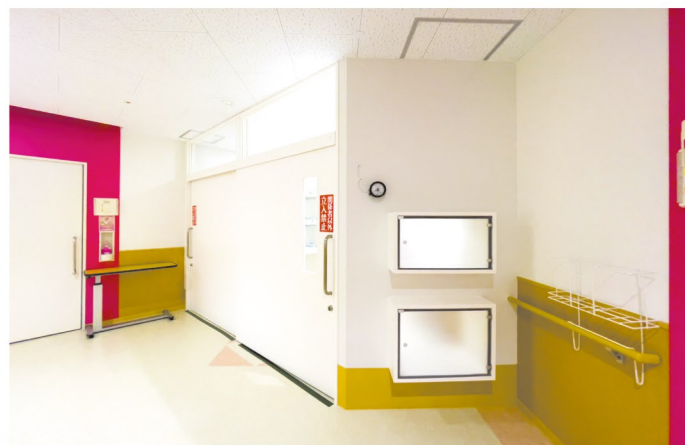
このような状況の中、4月末に大阪府より中村病院に対してコロナ病床開設の要請がありました。これは感染症法に基づく法的な要請であり、大阪府の医療機関としての責務と捉え、5月にコロナ病床開設を決断しました。病床開設にあたり、病院の全職員に対して文書にて説明を行い、コロナ病床に勤務する職員を募りました。コロナ病床に勤務する職員の負担は多大なものが予想され、勤務を承諾してくれる職員が確保できるか心配しておりましたが、予想を超える数の職員が自ら手を挙げてくれました。人員確保に目途がついたため、病床整備計画を大阪府に申請し、5月中旬に新型コロナウイルス感染症重点医療機関としての指定を受けました。準備工事のため、指定から1か月の時間を要しましたが、令和3年6月14日から新型コロナ病床を4床から運用を開始し、最大8床まで増床する予定です。

新型コロナウイルスは基本的には飛沫感染対策でよい感染症であるため、本来は飛沫が及ばない距離を保つことで感染対策は可能です。しかし、当院ではより強固な感染対策を期するため、飛沫感染対策よりも厳しい空気感染対策の病棟設備を整備しました。具体的には、病棟入口を壁で完全に仕切った上で、コロナ病棟内に計7台ものフィルター付陰圧装置を設置し、空気が外に漏れ出ない対策を講じました。壁の設置に伴い、防火対策のためのスプリンクラーも増設しました。コロナ病棟内には患者専用のトイレとシャワー室を完備し、コロナ患者さんがコロナ病棟外の院内設備を利用することはありません。入院受け入れ時には、ビニールカーテンで密封

された車椅子やストレッチャーで患者さんを移送するため、周囲の感染リスクはほとんどありません。また、勤務する看護師はコロナ病棟に専従とし、他の病棟業務を兼務することはありません。院内の職員は希望者全員が新型コロナワクチンを接種済みで、コロナ病棟に従事する職員は全員がワクチン接種済みのメンバーとしています。

このように、当院として実施しう感染対策は全て行った上で新型コロナ病床を稼働させていますので、当院をご利用頂いている皆さんにはご安心頂ければと存じます。それでも、いわゆる風評被害は懸念するところです。今回、季刊誌にこの記事に掲載するかどうか正直悩みました。公表しないことも可能であったと思いますが、ここは皆様にも当院の実情を知って頂いた方がよいと考え、この紙面にて公表することにしました。前述の通り、新型コロナ病床に勤務する職員は、医療従事者としての高い志をもって自主的に応募してくれた、かけがえのない職員です。これらの職員の感染を防ぐための防護対策は、病院としての責務と考え、必要な対策は惜しまずに整備しました。

地域の皆様におかれましては、当院の取り組みに対し各段の御理解をお願いし、温かく見守って頂ければ幸いです。



コロナ病棟正面



コロナ病棟病室



廊下の陰圧装置



新たな風～リハビリテーション部の活性化～ なごみの里 リハビリテーション部 課長 大林 浅美

令和3年度が始まり早くも3ヶ月が過ぎました。今年度のなごみの里、サテライトなごみの里リハビリテーション部には三つの「新たな風」が吹いています。

一つ目は「新入職員の“風”」です。4月より2名の理学療法士が入職いたしました。2人ともご利用者やリハビリの仕事に真剣に向き合い日々成長しています。その姿や新鮮な疑問が、私を含め先輩職員にとって気づきや振り返るきっかけにもなっています。

二つ目は、「人事異動の“風”」です。2月～5月にかけ、中村病院となごみの里の間で人事異動が行われました。病院や施設で働いてきた視点や経験を互いに知り合い、意見交換することで、ご利用者の捉え方やリハビリの可能性が広がっています。

三つ目は「介護報酬改定の“風”」です。今回の改定のポイントの一つに、「自立支援と重度化防止」があります。リハビリとしては、ご利用者の把握（評価）、目標設定、計画を立てる過程を改めてチーム内で見直し、多職種と共有することに力を入れ始めています。また、今後そのデータを厚労省に提出しフィードバックを受けることでさらに効果的に進めていく予定です。

“新たな風”は、それぞれの職員の気持ちや部署全体の取り組みを動かしています。風が吹くことを通して活性化を図るとともに、揺らぎにも寄り添い、サポートしていきたいと思えます。そして、今後も更に充実したリハビリテーションの提供やご利用者皆さまの生活の安心に繋げていきますのでよろしくお願いいたします。



施設ケアマネができること

サテライトなごみの里 山本 喜久江

サテライトなごみの里は、介護老人保健施設として、強化型を経て令和元年7月より超強化型として在宅復帰支援を行ってまいりました。

その中で、施設ケアマネとして、入所者様の「住み慣れた自宅で生活したい」との思いや家族様の意向に沿って、医療・リハビリ・介護等の支援のマネージメントに携わらせていただいています。

各専門職からのアプローチにより身体状況の向上と家族様の受け入れ準備が整ってやっと在宅復帰が実現します。

コロナ禍では、面会や外出・外泊による入所者様の身体状況確認など難しさを極め、在宅へつなぐことが難しくなっ

ております。

しかしながら、施設スタッフはフェイスシールドとマスクの着用にて疲労度の高まる中、感染の不安や感染予防の作業量の増加にも対応しつつ、入所者様の身体状況の向上に努めております。また、リモート面会だけでなく、スタッフからのお手紙や写真の送付、窓越しに手を振るなどのフィジカルな支援で、家族様へ安心をお届けしています。

介護サービス計画を通じて支援の窓口にありますケアマネは、家族様よりいただいた「感謝の気持ち」や「励ましのお言葉」を支援スタッフと共有し、これからの励みとし、皆様の信頼の架け橋となるよう努めてまいりたいと思えます。



コロナ禍が残していったもの

ケアプランセンターなごみ 管理者 佐藤 嘉枝

2015年から始まった「地域包括ケアシステム」では、今後様々な形態となるであろう高齢者世帯を支えるべく、地域包括ケアセンターが中心となって「自助（自分で自分を守る力をつける）」や「互助（地域で支えあう）」の仕組み作りを進めてきました。

長らくコロナ禍の自粛生活の中で、これまで作り上げてきた集いの場がなくなり、認知症の初期症状がうかがえる方や、全身の身体機能が弱ってこられた方が増えています。

しかしそんな中でも、築き上げた「人と人との絆」は消えなかったそうです。

「あの家、最近様子がおかしいな」。そんな小さな気づきに

救われたご家庭もあると聞きました。表立って集まらないから、何となくみんなが同じ時間に外に出て、互いの安否確認をしているという地域もあると聞きました。

コロナ禍でせっかく築き上げてきたコミュニティは崩壊したのかと思いきや、「こんな時やからこそ、周りの人も気になる。誰かと会いたい。話したい」と、しっかりと手を繋いでくださっている方もいらしたことが嬉しかったです。

コロナは私たちからたくさんのものを奪っていきましたが、「人と人が繋がりたい」という思いは、かえって強く残してくれたのかもしれないと思いました。

在宅支援



相互交流でメンタルヘルスケア

枚方市地域包括支援センターみどり 所長 伊内 康宏

このコロナ禍が1年以上続いている現状では、利用者にとっても私たち従事者にとっても、メンタルヘルスケアがとても大切になっています。

ひとつヒントにしたいのが「かかわり行動」です。これは、聴き手の積極的な傾聴の姿勢を話し手に示す手法の総称で、①視線を合わせる（文化的に合ったもの）②リラックスした身振り手振りや姿勢 ③ごく自然な話し方（大きさ、トーン、スピードに配慮する）④相手が話そうとする話題を安易に変えたりせずについて行く。という4つの項目です。

これは、カウンセリングや心療内科医等の診察時をはじめと

して、ケアマネジメント、ソーシャルワークに見られて、基本的な対人援助の技法になります。

かかわり行動は、日ごろのコミュニケーションを少し意識することから始まります。これらをベースに関わることで、当事者の心身の状況が不安定なのかそうでないのか把握することにもつなげることができます。

コロナ禍においては、人的交流が制限されていて、コミュニケーション量が絶対的に不足しています。ですので、業務上の対人場面において、皆が少し「かかわり行動」を意識化することで、メンタルヘルスケアが促進されていくのではと考えています。



令和2年度の決算理事会を終えて

いこいの里藤阪 施設長 岡崎 基

6月8日に決算理事会を迎えました。令和2年度は新型コロナウイルスの対応から始まり、新規事業として3カ所が同時に建築がスタートしていたため、法人にとっても初めて尽くしの経験でした。新型コロナウイルスが発生した施設もあったことから、稼働率や財務にも影響が出た結果となりました。

令和3年度はその結果を、乗り換えて新しい生活様式にも対応した対策を講じながら改善できるように進めていきたいと思います。おかげさまで、ワクチン接種もご入居者や職員の接種も終わることが出来ましたので、明るい施設作りに再び邁進してまいりたいと思います。



また、あの頃のように。

いこいの里 看護部 看護主任 岸部 里香

世の中では、「コロナ肺炎」という未曾有の感染症が猛威をふるい、我々松樹会でも様々な苦境や不便を強いられました。それでも、人々は前を向き、「ワクチン」という新たな武器を手を立ち向かっています。

松樹会では、6/19をもちまして、希望する利用者様・職員の「ワクチン接種」が終了しました。

思えば、このような事態になる前、私達は沢山の楽しい行事や催しを利用者様と行ってきました。春はお花見。6月の菖蒲園。夏祭りに、「そうめん流し」煌びやか(?)な衣装でマツケンサンバを踊り、フォーチュンクッキーにチアダンス。沢山歌って踊りました。

毎週どこかのユニットでカラオケ大会しては、皆さんと「青い

山脈」を大合唱したなあ。

また、あの頃のように、沢山の楽しい思い出を利用者様と作っていきたいです！

これから、楽しいことがどんどん待ち受けています！希望に満ちた明日へ！



職員ワクチン接種



入居者ワクチン接種



たんぽぽ田口季節行事開催

グループホームたんぽぽ田口 管理者 福本 悦子

たんぽぽ田口では、「いつでも入居者様が楽しく過ごせるようにしたい」と日々取り組んでいます。

春には、職員からの提案もあり、ミニ運動会や、お花見御膳として「デリケアの出張天ぷら実演」を開催し、とても喜んで頂きました。日々の支援としては、生活レクはもちろんのこと、散歩やテラスでの園芸、プチデイと称して集団レクリエーションなどを行っています。現在では、趣味のクラブを立ち上げ

たいと、職員からの新しい提案があり「手芸倶楽部」が発足しました。これからも皆様方に楽しんで頂けるよう支援していきます。



各施設連絡先

社会福祉法人 松樹会

特別養護老人ホーム いこいの里	072-898-2197
デイサービスセンター いこいの里	
サテライト いこいの里	072-849-2210
特別養護老人ホーム いこいの里藤阪	072-868-2192
特別養護老人ホーム いこいの里長尾	072-868-1893
ケアハウス つくしんぼ長尾	072-868-2190
デイサービスセンター 長尾	
ケアハウス つくしんぼ藤阪	072-868-2191
グループホーム たんぽぽ藤阪	072-868-2197
グループホーム たんぽぽ田口	072-898-2193
小規模多機能ホーム ふじ	072-868-2193
看護小規模多機能ホーム なお	072-868-1894
居宅介護支援センター つくしんぼ	072-898-2196
障害福祉サービス ミルキーウェイ	072-867-5690

医療法人 みどり会

中村病院	072-868-2071
中村記念クリニック	072-868-2070
介護老人保健施設 なごみの里	072-868-2072
サテライト なごみの里	
デイサービス 長尾の里	072-818-2071
有料老人ホーム みどりの館	072-868-2727
グループホーム たんぽぽ長尾	072-868-2195
ケアプランセンター なごみ	072-818-7533
訪問介護ステーション みどり	072-868-4392
地域包括支援センター みどり	072-845-2002
研修所 みどりの樹	0264-44-2550

ルーク山田眼科 072-868-0880

—— 編集後記 ——

令和3年度「みどりの風夏号」をお届けいたします。当院に於いてのワクチン接種も職員をはじめ近隣の医療従事者また高齢者への接種が8月末迄で累計11,210名を予定しております。また今号では6月14日新型コロナウイルス感染症患者病棟の開設致しました記事を掲載させていただいておりますので一読いただければ幸いです。

7月後半には夏季オリンピックも開催され全国的な人の移動も増え、第5波が懸念されるなかですが、医療従事者としてコロナ不安を払拭させるべき対応で職員一同努力しているところです。今後ともよろしくご指導、ご支援の程お願い申し上げます。

みどりの風編集委員会

連絡先 ☎072-868-2071 法人本部 松田